

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35554	
事業名	札幌駅交流拠点まちづくり推進費						
評価担当課	所属名	政)政策企画部 都心まちづくり					
	課長名	滝上 慶太郎	担当者名	宮浦 直人	電話番号	011-211-2692	
施策名	主	広域連携ネットワークの強化と投資環境の充実					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	札幌駅交流拠点のまちづくりを先導する街区である、北5西1・北5西2街区等の整備に向けた検討を進めるとともに、駅前広場を中心としたエリア全体の姿を設計する。				
		長期	令和12年度末の北海道新幹線の札幌延伸を見据え、道都の玄関口としての魅力、拠点性を高める。				
	取組内容	北海道新幹線の札幌開業を見据え、札幌駅交流拠点の魅力を高めるため、札幌駅交流拠点全体を対象に、事業化に向けた検討に官民協働で取り組む。 ①北5西1・西2地区の検討:北5西1・西2地区再開発準備組合の負担金 ②札幌駅周辺エリアの街区間連携の外部委託 ③北5西1の一部売却(新幹線駅舎用地)の費用 ④その他事務費					
実施結果	①共同地権者であるJR北海道グループと設立した再開発準備組合において、基本設計や環境アセスメント手続きなどの事業化に向けた検討を行った。 ②札幌駅周辺都市基盤計画検討業務、札幌駅周辺交通処理計画基礎資料作成業務を実施し、街区間の連携方法の検討を行った。 ③北5西1敷地の一部を新幹線駅舎用地として売却するため不動産鑑定を行った。						
事業実施における工夫点	札幌駅周辺エリアの街区間連携の検討を円滑に進めるため、札幌駅周辺都市基盤計画検討業務及び札幌駅周辺交通処理計画基礎資料作成業務を専門的なノウハウを有するコンサルタントに委託した。						
対象者	地元住民、国内外の来訪者、民間事業者			開始	平成20年度	終了	令和12年度
関連法令・条例・要綱等	都市再開発法 都市再生特別措置法						
他都市の状況	新幹線開業を契機とした駅前再開発は、各政令指定都市が取り組んでいる。 (例 名古屋:JRゲートタワー等の整備、福岡:JR博多シティ、博多口駅前広場等の整備)						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	329,068	995,000	981,270	1,389,000	
うち特定財源	4,000	7,000	7,000	741,202	
人工	5.0	7.0	8.0	7.4	
人件費	36,000	50,400	57,600	53,280	
計(事業費+人件費)	365,068	1,045,400	1,038,870	1,442,280	
事業費の内訳	令和3年度決算	・北5西1・西2地区再開発準備組合負担金 952,127 ・札幌駅南口周辺エリアにおける街区間の連携検討 25,799 ・北5西1敷地の不動産鑑定 1,172 ・事務費等 2,172			
	令和4年度予算	・北5西1・西2地区再開発準備組合負担金 340,000 ・北5西1敷地の一部売却(新幹線駅舎用地)の費用 499,202 ・札幌駅南口周辺エリアにおける街区間の連携検討 27,000 ・新幹線東改札口の検討 38,000 ・北4西3地区に対する補助金 466,000 ・事務費等 18,798			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	札幌駅交流拠点内の再開発に係る都市計画決定件数				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
	1	1	1	1		
活動指標2	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
成果指標1	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
成果指標2	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合」や「札幌駅南口北4西3地区市街地再開発準備組合」において、都市計画案の作成や環境アセスメント等の事業化へ向けた検討を進められた。 駅前広場を中心としたエリア全体の姿について検討し、基礎資料を作成した。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	上記検討に最低限必要な経費を計上している。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	負担金は札幌の顔となる北5西1・西2地区の事業化の検討費用を一時的に立替えるものであり、計画の推進のため妥当と考える。 札幌駅周辺エリアの街区間連携の検討は専門的なノウハウを有するコンサルタントに委託したため妥当と考える。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合」や「札幌駅南口北4西3地区市街地再開発準備組合」において、事業化に向けて円滑に検討が進められた。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	なし					
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合」及び「札幌駅南口北4西3地区市街地再開発準備組合」の検討が順調に進められており、活動指標である「札幌駅交流拠点内の再開発に係る都市計画決定件数」を達成したため。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 北海道新幹線の札幌開業を見据え、札幌駅交流拠点の魅力を高めるため、北5西1・西2地区の都市計画決定を目指す。また、エリア内の各事業の検討が深度化されたことから、札幌駅周辺エリアの街区間連携について更なる検討に取り組む。				
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 上記業務に必要最低限の経費を計上する。			見直し効果額	0